

支援金制度があつた。平成17年にこの制度は廃止されているが、当時の議事録を拝見すると、合併破綻と財政指標の悪化が要因となつていていた。是非とも、全ての満1歳の誕生日に誕生祝い金の創設と、入学祝い金の創設、一方で、不妊治療への町独自の支援策の更なる充実についての考え方をお聞かせ願いたい。

答

(青山総務課長)

「誕生祝い金」や「入学祝い金」につきましては、近隣の市町村の実績や効果、状況などの調査も含め、一度検討させていただきたいと考えております。

また、不妊治療の支援策ですが、子どもがほしいと望んでい

るにもかかわらず不妊に悩み、

実際に治療を受けておられるご夫婦が増加しているのが現状でございます。岐阜県では体外受精や顕微授精と呼ばれる特定不妊治療に要した費用の一部を助成しています。

八百津町では、県の助成を受けられた方に対し、1年度あたり10万円を限度に通算5年間まで上乗せ助成をいたしております。

県の助成を受けるには、ご夫婦の所得の合計額が730万円未満という条件があり、県の助成を受けていることが必須となつてある町の助成についても、この所得制限は条件となつてしまります。町独自の支援策となりま

すと、この所得制限を撤廃すること、助成額を増額すること、また保険診療と保険外診療を組み合わせて行う混合診療を助成の対象とすることなどが考えられます。その実施にあたっては、いろいろと課題もあり、今後調査研究を重ねてまいりたいと考えております。

Q1 八百津町の観光について

林俊宏議員

総合的な今後の計画について

問 八百津町には歴史、文化、

産業、産物が豊富であり、ささらに今年度は、杉原千畝記念館も展示等内容充実し、新たな記念館に向けリフレッシュし、観光強化を進められている。

しかし、すばらしい観光場所

だけではなく、八百津町全体を知つていただくためにも、歴史、文化に触れられ、拠点となるような場所も必要ではないだろうか。観光を通して、異なる活性化に向け、総合的にどのように計画されるのかお聞きする。最初に、観光協会の今までの経過と今後の計画について伺う。

答 (田口産業課長)

問 観光振興計画に基づいてマスター・プランを作成しました。

答 (田口産業課長)

問 観光振興計画に基づいてマスター・プランを作成しました。

八百津町の観光計画については、年度別のアクションプランを定め、八百津町と観光協会が協力し合って事業を展開してお

ります。ご理解とご協力をお願ひいたします。

結果、八百津町のイメージキャラクター「やおつち」の作成、観光振興計画の策定、観光協会の再編成を実施することができます。

今後は、観光協会を中心に、行政主導では無く、会員の総意で事業を展開できたらと考えているところであります。

八百津町の観光計画については、年度別のアクションプランを定め、八百津町と観光協会が協力し合って事業を展開してお

ります。ご理解とご協力をお願ひいたします。

八百津町では、拠点になるような場所が必要ではないかと思う。財源等さまざまな問題・課題も多いと思いますが、拠点となるような場所の段階的な早めの計画が必要だと思います。

ハード面では、拠点は、トイレの整備・統廃合を含めたアクリションプランを定めており、それについてアクションプランとして、既存観光地の観光インフラ整備、八百津をいかした観光コースの整備、フェイスブック等を積極的に活用した情報発信、八百津を全国にアピール、誘客

マスター・プランを作成しました。例えば、既存観光地の観光インフラ整備、八百津をいかした観光コースの整備、フェイスブック等を積極的に活用した情報発信、八百津町シンボルマーク、八百津を世界に発信、特産物のアイデアの提供開発という8つのマスター・プランを作成しました。

八百津町の観光振興計画は、平成26年から35年までの10年計画であり、5年ごとの前期・後期に分けてお

町民のみなさん

八百津町議会を傍聴してみませんか!!

12月定例会は 12月5日(金)開会の予定です

詳細は議会事務局までお問い合わせください

☎ 43-2111(内線2302)

一般質問の様子はCCNet(アナログ10ch)
(地デジ12ch)で生中継・録画放送されます

